

まずは景気対策 麻生内閣始動

麻生総理大臣による所信表明演説が行われました



9月29日に開かれた衆議院本会議において、麻生太郎総理大臣による最初の所信表明演説が行われました。所信表明演説は、臨時国会や特別国会の冒頭に総理大臣によって行われる演説で、首相の国政に対

する考え方を述べる演説です。総理大臣就任後の最初の演説は、総理の姿勢を知る上でも特に注目されます。

今回の演説の中で、麻生首相は、まず「強い日本、明るい日本」を唱え、日本と日本国民の平和と安全、暮らしに落ち着きと希望、子どもたちの未来に夢をもたらすことが、内閣総理大臣の職務であり、そのために邁進すると述べました。さらに、「日本と日本人の底力に、一点の疑念も抱いたことはありません」と述べ、「決して現状を悲観せず、決して逃げずに責任と実行力のある政治を行うことを誓います」と述べました。

(裏に続きます)

さらに今回の所信表明演説の中では、日本の現状から麻生内閣が優先的に取り組む課題が述べられました。まず、内閣が取り組むべき緊急な上にも緊急の課題は、日本経済の建て直しであるとして、当面の景気回復、中期的な財政再建、中長期的な改革による経済成長の3つの段階が必要であると述べました。特に景気対策は、まさに喫緊の課題、何にも勝る最優先の課題です。政府与党は、先月緊急総合経済対策を取りまとめ、先日閣議決定しました。中小企業向けの金融支援の拡大を中心に、学校校舎の耐震化工事の促進や、原油高に苦しむトラック業界や漁業、農業などに対する支援など総額約1兆8千億円の緊急経済対策を行う予定です。おこのぎ八郎さんは、「景気対策は今を生き抜くために欠かせない。必要とあらば更に追加の経済対策を取るべきだ」と述べ、「政府に対して進言する」と語りました。

今回の所信表明演説では、日本経済の建て直しと並んで、暮らしの安心の確保が重要であると述べられました。年金記録問題に粘り強く取り組み、安定的な財源の確保目指すことや、長寿医療制度の見直し、それ以外にも産科や小児科の医師不足、介護現場の人手不足などに積極的に取り組んで不安の解消に全力を尽くすとしています。また次代を担う若者が希望を持てるように雇用の問題や、揺らいでいる学校への信頼回復、質の高い教育の実現などに取り組むとしています。

今回の所信表明演説で、麻生首相は、首相が掲げる政策や取り組みに対して何度も民主党の見解、民主党の覚悟を問いました。それは聞こえの良いことばかりを言う民主党に対して、麻生首相の政権与党としての責任と覚悟を強く唱えるものです。混迷する世界において、日本の未来のために責任ある政治が今求められているのではないのでしょうか。

おこのぎ八郎さんを支援する会

横浜市神奈川区反町1-7-1

TEL:045(323)6000

FAX:045(323)2974